

中村保・ヒマラヤの東 写真館-2

2008年秋「深い浸食の国」・「四川省西部高地」踏査報告

動日夏波(Dungri Garpo)
西面・6090m

A wide-angle photograph of a high-altitude mountain range. The central focus is a large, jagged mountain peak covered in snow and ice, with dark rock faces visible. The foreground consists of a rocky, snow-dusted slope leading up to a small, flat, snow-covered area. The sky is a clear, deep blue with a few wispy clouds. The overall scene is one of a rugged, high-altitude environment.

目次

1. 2008秋踏査地域地図

- ①ヒマラヤの東—3
- ②2008年秋踏査全体図—4
- ③踏査詳細図—5
- ④深い浸食の国全国—6

2. 2008秋・踏査第一部—7~8

—深い浸食の国・動日夏波(Dungri Garpo)の偵察

- ①大米勇(Damyon)—9~12
- ②動日夏波(Dungri Garpo)—13~16
- ③「メコン・玉曲分水嶺」—17
- ④「怒江・玉曲分水嶺」(Geuzong連峰)—18
- ⑤「沙魯里山系」(Shakuli Shan)—19
- ⑥理塘高原—20~21
- ⑦稻城・「貢嘎雪山」—22~23

3. 2008秋・踏査第二部—24

—貢嘎山(Gongga Shan)南方の幻の山(Ren Zhong Feng)偵察

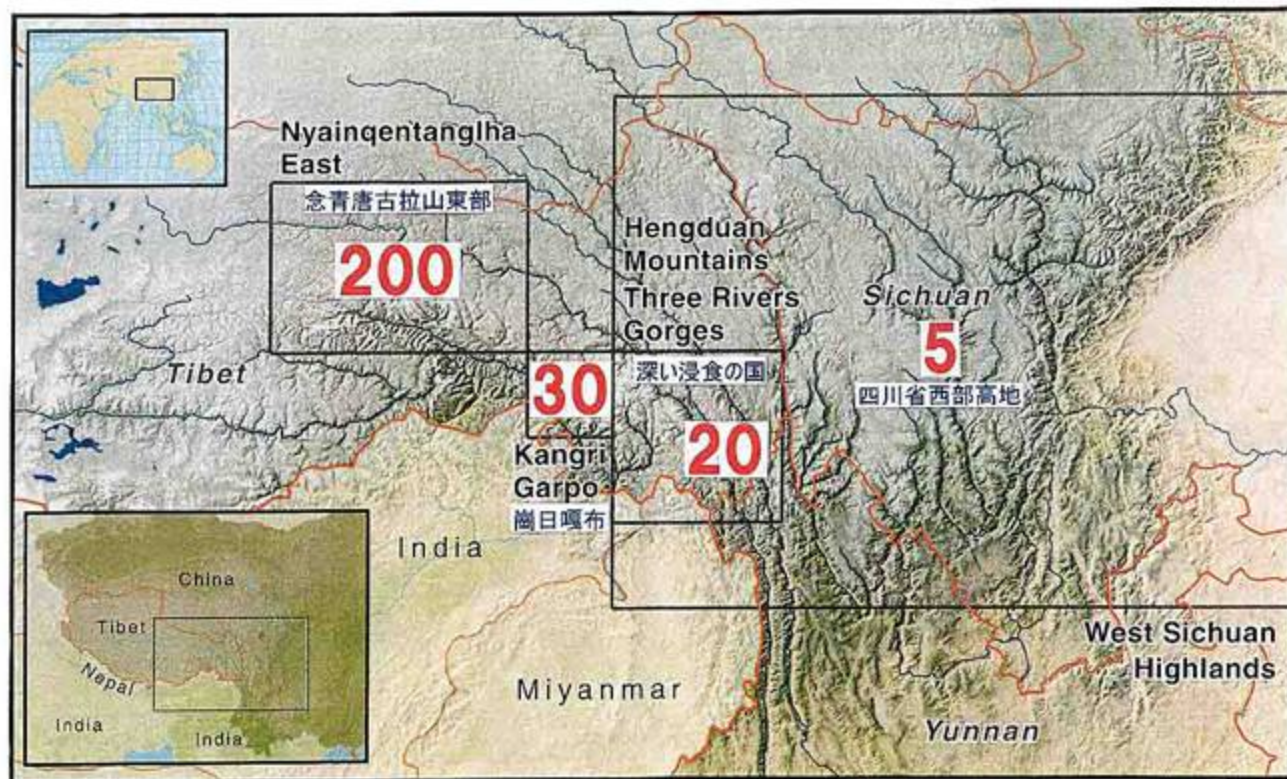
- ①大雪山系南端 Ren Zhong Feng—25~26
- ②大雪山系北端 夏羌拉(Xiaqingla)—27~28
- ③大雪山系中央部—29~33

4. 中村保氏受賞歴—34

写真:全て中村保氏撮影

East of the Himalaya – Alps of Tibet

255 Unclimbed 6,000 Peaks-April 2008



ヒマラヤの東・未踏の山々

「ヒマラヤの東」は四川盆地の西の端からラサの東までをカバーする。その山域は東から「四川省西部高地」、「深い浸食の国」、「崗日嘎布(Kangri Garpo)」そして「念青唐古拉山(Nyainqentanglha)東部」に分けられる。そこには6千Mを超える未踏の山々が実に255座もある。とりわけ「念青唐古拉山東部」は200峰を数える未登峰の宝庫である。

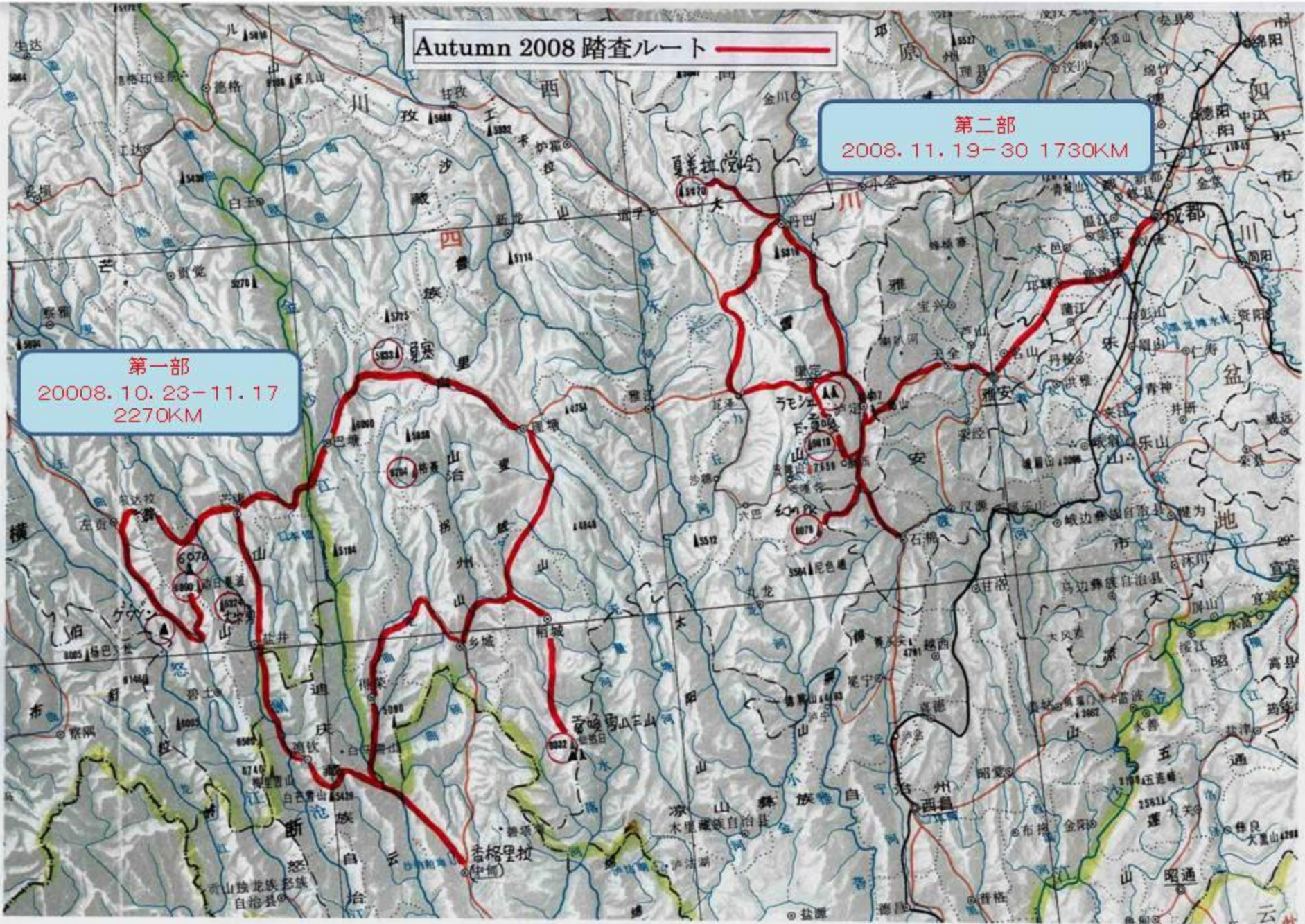
ヒマラヤの東で本格的登山が行われたのは1932年のアメリカ隊によるミニャゴンカ(7566M)の初登頂であった。1941年には里月達夫OBが「ミニャゴンカ山群」として日本で初めて紹介した。

しかしその後中国は激変の時代に入り、1980年代まで一帯は外国人には閉鎖されてしまった。とりわけ新中国に最も激しく抵抗した勇猛なカソバ族の住む一帯は今でも厳重な管理下におかれ、外国人は容易には入域できない。

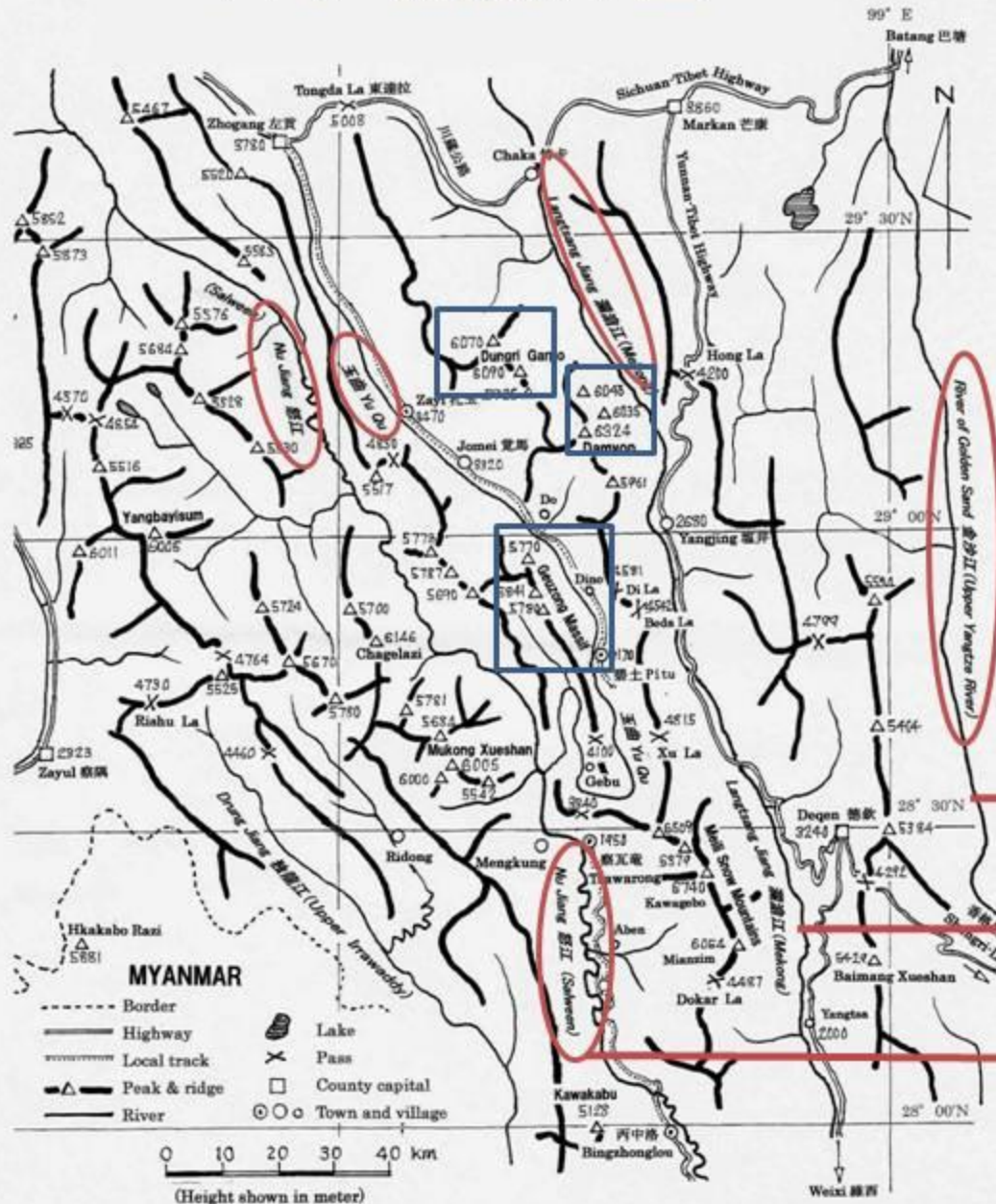
Autumn 2008 踏査ルート

第二部
2008. 11. 19-30 1730KM

第一部
2008. 10. 23-11. 17
2270KM



深い浸食の国



中国三江併流

①金沙江=揚子江

②澜滄江=メコン川

③怒江=サルウィン川

2008年秋・第一部

深い浸食の国・動日戛波 (Dungri Garpo) の偵察

- 横断山脈の核心部である「深い浸食の谷」はアジアの五つの大河がわずかに150kmの間を互いに接して南流する。ゴルジュは深く山嶺は高い。中国では三江併流(金沙江=揚子江、瀾滄江=メコン川、怒江=サルウィン川)と呼ばれ、その驚異の景観ゆえに2002年にユネスコの世界自然遺産に登録された。
- 2007年11月: 横断山脈研究会の5人の仲間は初冬の1ヶ月間、雲南省から東南チベットへ出かけた。豪壮なサルウィン峡谷(怒江)を北上し(梅里雪山の西側)、察瓦龍(Tsawarong)を経て3340mの峠を越えて怒江の支流、玉曲(Yu Qu)へと入った。ここでは玉曲をはさんで西側に「怒江・玉曲分水嶺(Geuzong 連峰)」、東側に大米勇(Damyon)ならびに動日戛波(Dungri Garpo)を主峰とする「怒山山系」の山群が連なり北へと向かっている。
- 一行はこの谷のほぼ中央に位置する沙多(Do)村から3日をかけて大米勇(Damyon)の麓を偵察、南面の撮影に初めて成功した。
- 帰路は谷を遡り川蔵南路に出、理塘高原を経てかつての雲南の中甸、今のシャングリラに戻り空路昆明へと出た。

2008年秋・第一部

深い浸食の国・動日戛波(Dungri Garpo)の偵察

- 2008年秋: 2007年に次ぎ雲南のシャングリラまで空路で飛び、そこから揚子江の源流・金沙江を渡り、さらに西方のメコン川の源流・瀾滄江(Langtsang Jiang)を北上、芒康(Markam)に出た。そこから川蔵南路に入り、前年と同じ道を反対に西へ向かい、左貢(Zogang)から玉曲の(Yu Qu)谷へと入った。
- 前年基地となった沙多(Do)村のやや北に位置する土貝給(Bake)村を基地とし、玉曲支流の紅曲(Hong Qu)を3日遡上、4700m地点より前年に偵察した大米勇(Damyon)の北に位置する動日戛波(Dungri Garpo)の西面の偵察に成功した。
- また、紅曲から東北にのびる支流、錯崩曲(Tso Bong Qu)を源頭まで遡り「メコン・玉曲分水嶺」(加母同南・Jiamutongnan 連峰)の偵察も行った。
- 帰路は同じ道を芒康(Markam)まで戻り、さらに北東へと足を伸ばし金沙江を渡って四川に入り理塘高原にいたった。そこから南転、四川のシャングリラとして有名な稻城の「貢嘎雪山」周辺を逍遙、7日をかけて雲南のシャングリラに戻り、偵察の第一部を終えた。